

# 「災害・防災等に関する情報発信手段について」

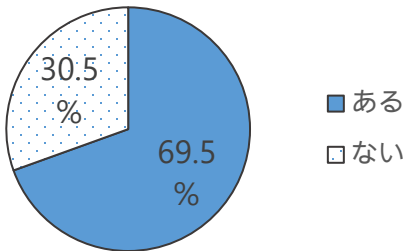
本市では、災害情報などを市民の皆様へ連絡する手段のひとつとして、防災行政無線を市内152箇所に設置し、平常時は、機器の動作確認を目的としたチャイムなどの定時放送のほか、火災予防や熱中症などの注意喚起に関する情報を放送しています。

社会情勢の変化に伴う防災行政無線に対する市民の皆様のニーズを把握し、今後の防災行政無線の運用方法の参考とするため、アンケートを実施しましたので、その結果の概要についてお知らせします。

## 調査概要

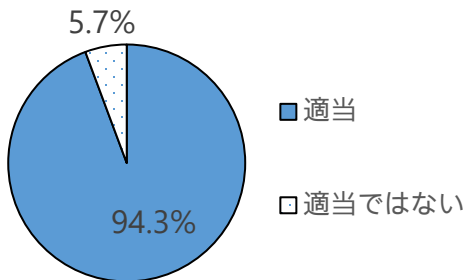
- 調査期間 2026年5月22日(金)～5月31日(日) (10日間)
- モニター数 508名 (男性 225名 女性 283名)
- 回答者数 423名 (男性 185名 女性 238名)
- 回答率 83.3%

## 防災行政無線を聞いたことがありますか？



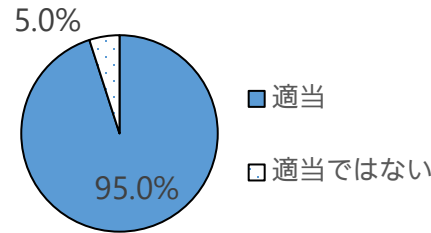
防災行政無線を「聞いたことがある」と回答した方は69.5%で、「聞いたことがない」と回答した方は30.5%であった。防災行政無線は、環境条件等により音声聞き取りにくいことがうかがえる。

## 定時放送の回数は適当だと思いますか？



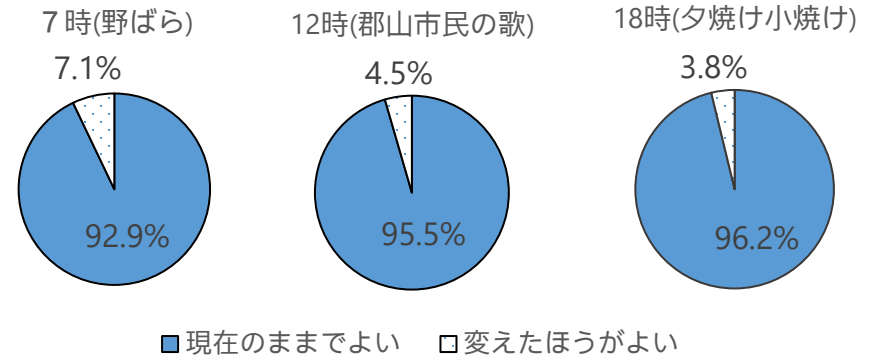
防災行政無線による定時放送の回数について、94.3%の方が現在の1日3回が「適当である」と回答している。

## 定時放送の時間帯は適当だと思いますか？



防災行政無線による定時放送の時間帯について、95%の方が現在の7時、12時、18時（湖南地区においては春夏5時/秋冬6時、11時30分、春夏18時/秋冬17時）が「適当である」と回答しており、市民の皆様の生活に定着しているといえる。

## 定時放送の音楽についてどう思いますか？



防災行政無線による定時放送の音楽について、音楽ごとに92.9～96.2%の方が「現在のままでよい」と回答しており、特に音楽の変更は望んでいないことがうかがえる。

## 考察

本調査で、防災行政無線の定時放送（回数・時間帯・音楽）について、いずれも「現状維持」で良いとする回答が9割超となっており、定時放送が市民の皆様の生活に定着していることが確認できた。この結果から、現在の防災行政無線の運用（1日3回、現行時間帯、現行音楽）は、変更することで市民の皆様の利便性や生活のリズムを損ねる可能性があるため、「現状維持」が妥当と考える。また防災行政無線は、環境条件等により音声聞き取りにくい場合があるため、市民の皆様には補完する情報配信手段（防災メール、SNS等）の活用についても、周知する必要がある。